

# おおたわらし 大田原市バイオマス産業都市構想の概要

栃木県大田原市、人口約7.5万人、面積 約3.5万ha

## 構想の概要

豊富な地域資源(バイオマス)を活用したエネルギーの地産地消を軸とした、広域連携や官民連携による循環型地域社会の形成と農業・林業分野における新たな地域産業創出の実現を目指す。

### 1. 将来像

- ①エネルギーの地産地消
- ②循環型地域社会の形成
- ③地域産業の創出

### 3. 目標(10年後)

- ①廃棄物系バイオマス
  - ・家畜排せつ物:100% ・製材残材:100%
- ②未利用系バイオマス
  - ・間伐材:100% ・林地残材:100%
  - ・農作物非食部(稲わら・もみ殻):100%

### 5. 実施体制

- ・市が「大田原市バイオマス活用推進協議会(仮称)」を設置し、中核機関として位置づけることにより、方針のとりまとめや決定、各種調整、進捗管理等を行う。
- ・各事業化プロジェクトは推進協議会内に「専門部会」を設置し、具体的な事業化計画の検討・策定を行う。

### 6. その他

- ・「大田原市総合計画」・「新大田原市レインボープラン」
- ・「おおたわら国造り計画」・「大田原市新エネルギービジョン」
- ・「大田原市未来創造戦略」・「大田原市地球温暖化防止実行計画」
- ・「大田原市森林整備計画」

### 2. 事業化プロジェクト

- ①地域材エネルギー利用プロジェクト
  - ・間伐材、林地残材をチップ化し、熱電併給型木質バイオマス発電所に利用
  - ・バークチップ及びおが粉製造
- ②家畜排せつ物バイオガス化プロジェクト
  - ・家畜排せつ物を原料としてメタン発酵による発電及び熱利用、消化液の固形分は堆肥化し、液肥の利用と併せて耕種農家で利用
- ③廃棄物発電プロジェクト
  - ・一般廃棄物を原料として発電及び熱利用
- ④地域材高度利用プロジェクト
  - ・主伐材を原料にCLT(直交集成板)、LVL(単板積層材)を製造し、公共建築等に利用
  - ・CLT工場等において、製材端材(製材端材、間伐材、林地残材)を原料にチップ・ペレットを製造

### 4. 地域波及効果

- ①経済波及効果 生産誘発額:396.2億円/10年
- ②新規雇用創出効果 94人/10年
- ③その他波及効果
  - ・化石燃料代替量 電気:35,352mwh/年 熱:28,047GJ/年
  - 電力・灯油換算:6億円/年
  - ・廃棄物処理量の減量 削減量:50t/年
  - ・災害時の燃料供給量 チップ生産量:60,000t/年
  - ・林地残材等の利用量 間伐量:14,668t/年 間伐材搬出量:20,468t/年
  - 原木販売額:6億円/年 チップ販売額:3億円/年

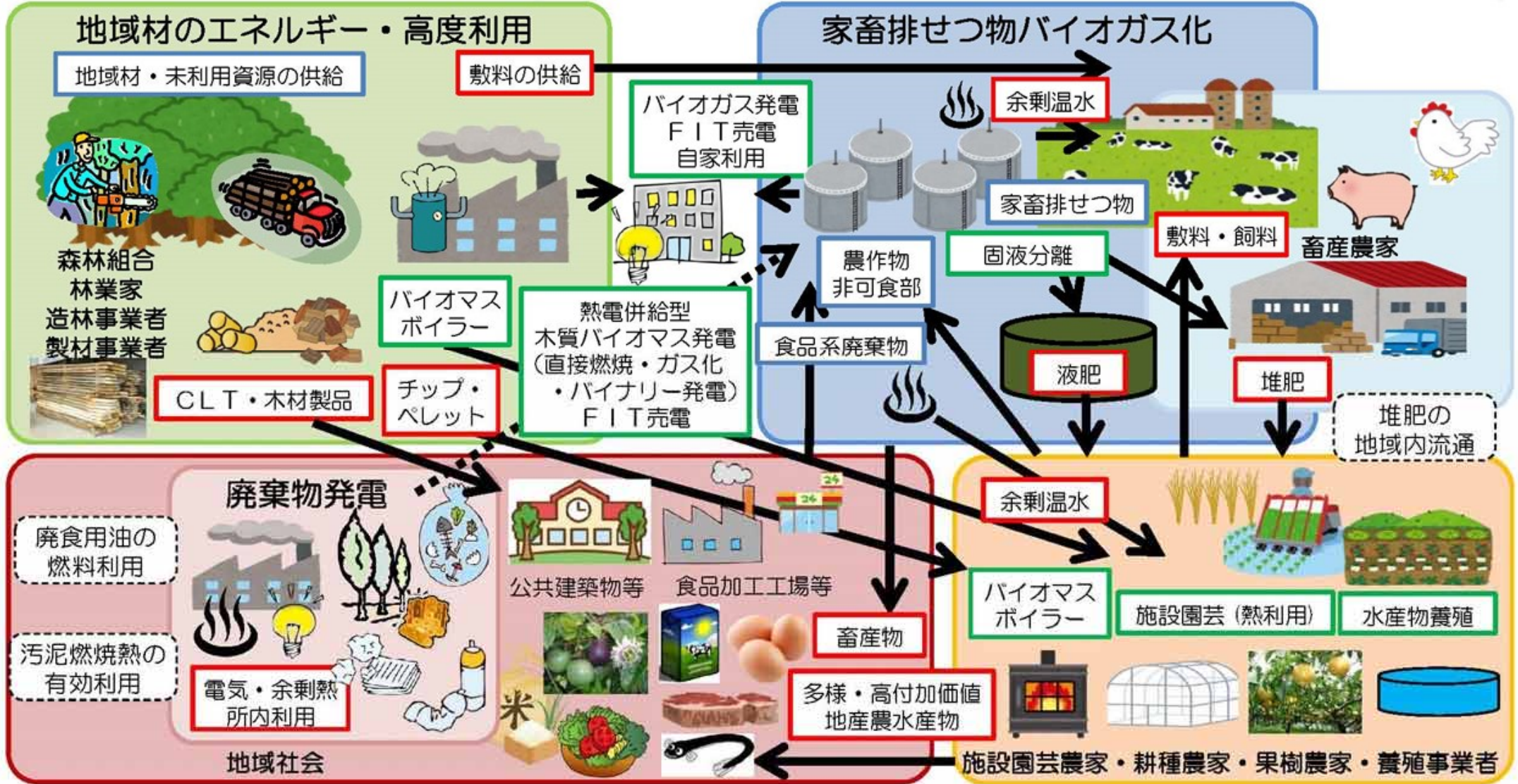


# 大田原市バイオマス産業 都市構想の概要

豊富な地域資源(バイオマス)を活用したエネルギーの地産地消を軸とした、広域連携や官民連携による循環型地域社会の形成と農業・林業分野における新たな地域産業創出の実現を目指す。

- ・森林整備による防災・減災
- ・整備された森林を活用したグリーン・ツーリズムや健康増進

- ・地域資源(廃棄物)を活用した燃料・電気・熱エネルギーの地産地消
- ・肥料(液肥・堆肥)の供給
- ・廃棄物処理コスト低減と化石燃料使用量削減による温暖化対策



- ・廃棄物処理コスト削減による住民負担の低減
- ・ごみの分別、可燃ごみの水分低下等による地域の廃棄物削減・循環型社会構築への参画

- ・地域材や地産農畜水産物の購入消費による、地域の森林保全や農畜産業活性化への参画

- ・地産エネルギーや地産肥料を活用した多様かつ高付加価値な農畜水産物の生産・供給